

—ウコン—



花（東京理科大学植物園）

基原植物学名： *Curcuma longa* L. （英名：Turmeric）

科名：ショウガ科

属名：ウコン属



根茎（日本粉末薬品株式会社）

形態：9月から10月に葉間から高さ30cmほどの花茎を出し、大型の穂状花序をつける。一見淡緑色で花卉に見えるのは、多数の苞葉（花を包む葉）が重なったもの。頂点に向かって徐々に白色を帯びておおらかに広がり、苞葉の間に二～四個の淡黄色の花を順次開いていく。根茎の断面は鮮やかな黄色で多肉、細長い円柱形でときに分岐する。

薬用部位：根茎（そのまま、またはコルク層を除いたものを、通例湯通ししたもの）

主要成分：クルクミン

主な薬効：利胆、肝保護作用

漢方処方：中黄膏（はれものの初期、打ち身、捻挫に用いる）

熱帯アジア各地で自生ないしは栽培される多年草で、カレーなどの料理に用いられるターメリックとして有名。古代から一般的な黄色染料として使われ、たくあんやピクルスの着色料にも用いられている。

主要成分であるクルクミンは、健胃薬や利胆薬（胆汁分泌を促し、脂肪の消化・吸収を助ける）として用いられる。二日酔いの症状をもたらすとされる有毒なアセトアルデヒドは、ウコンの摂取によって分解が促進されると言われている。また、抗酸化作用、抗菌作用、アルツハイマー病の原因となりうるβアミロイドの蓄積抑制効果も報告されている。

参考文献

- ・天然医薬資源学 第6版 廣川書店
- ・生薬単 改訂第3版 伊藤美千穂・北山隆監修 原島広至著 丸善雄松堂
- ・日野製薬 生薬ブログ https://hino-seiyaku.com/blog_crude_drug/flower/10_3.php
- ・日本粉末薬品株式会社 https://www.nfy.co.jp/foods/turmeric_japan